

# あんじょう 市議会だより

第12号

平成25年11月1日  
(2013年)

9月定例会



武雄市図書館で説明を受ける市民文教常任委員会



境港市でオブジェの説明を受ける総務企画常任委員会

## 各常任委員会で行政調査を実施しました



千歳市子ども通園センターで説明を受ける経済福祉常任委員会



目黒天空庭園で説明を受ける建設常任委員会

## 9月定例会のあらまし

平成25年第3回安城市議会定例会を9月2日～25日に開催しました。提出された「平成24年度安城市一般会計歳入歳出決算」など認定案11件を原案どおり認定したほか、議案7件を原案どおり可決、報告案2件の報告、同意案1件を原案どおり同意、諮問案1件を異議ない旨答申しました。また、提出された陳情1件は、不採択となりました。3日・4日の一般質問には、11人の議員が市政の各方面にわたり質問しました。

本会議の詳細な内容は、市公式ウェブサイトの「市議会のページ」または12月上旬から市役所市政情報コーナー、中央図書館に設置する「会議録」をご覧ください。

## 目次

- 2 主な議案
- 4 主な議案の審議、決算分科会の審査
- 6 一般質問のあらまし
- 9 議案などの審議結果
- 10 行政調査報告
- 11 委員会の主な活動状況、議長に答申
- 12 議会報告会（試行）  
12月定例会の開催予定ほか

主な議案

平成24年度の11会計決算を原案どおり認定

決算特別委員会では、議長と議会議選出の監査委員を除く全議員が参加。常任委員会の所管ごとに分科会を設置して審査する分科会方式で審査しました。

決算特別委員会を設置

9月6日に、28人の議員を構成員とする決算特別委員会を設置しました。その後、第1回決算特別委員会を開き、委員長に竹本和彦委員、副委員長に野場慶徳委員を選任し、4つの分科会を設置しました。

平成24年度決算を認定

9月10～13日に分科会で審査し、19日の第2回決算特別委員会各分科会長が審査経過を報告しました。

25日の本会議において、委員長が決算議案に係る審査経過と結果を報告した後に採決し、一部反対意見がありました。原案どおり認定しました。

認定した主な会計の決算概要は次のとおりです(増減額・率は、いずれも前年度との比較です)。

一般会計歳入歳出決算

- 歳入総額 618億円余で、21億8600万円余の増額(3.7%増)となりました。
- 歳出総額 574億円余で、14億7600万円余の増額(2.6%増)となりました。

歳入と歳出の差引額は43億余で、繰越明許費などの翌年度に繰越すべき財源を除いた実質収支は、31億円余の黒字となりました。

【歳入の主な内訳】

- 市税 全体で356億円余で、6億9500万円余の増額となりました。
- 個人市民税 給与所得が伸びたことや年少扶養控除の廃止などにより、6億2900万円余の増額となりました。
- 法人市民税 6億4000万円余の増額となりました。
- 固定資産税 5億1600万円余の減額となりました。
- 都市計画税 7400万円余の減額となりました。
- 市税以外の一般財源 地方特例交付金は、3億2900万円余の減額、地方交付税は1億3900万円余の減額となりました。

【歳出の主な内訳】

- 総務費 72億300万円余で、財政

水道事業会計決算

平成24年度末の給水人口は18万2000人余で、0.38%増加しました。年間配水量は、0.47%増加しました。

- 収益的収支 事業収益は500万円余の増額、事業費用は9000万円余の減額となりました。大規模な修繕工事がなかったことなどにより、純利益は9500万円余の増額となりました。
- 資本的収支 主な事業として、北部浄水場の薬品貯蔵設備や電磁

【平成24年度一般会計決算のあらまし】

《歳入》618億239万円(対前年比+3.7%)

自主財源 (75.9%)	依存財源 (24.1%)
-----------------	-----------------

- 自主財源に占める市税の割合=76.1%
- 依存財源に占める市債の割合=13.9%

《歳出》574億4479万円(対前年比+2.6%)

投資的経費 (13.8%)	義務的経費 (39.4%)	その他の経費 (46.8%)
------------------	------------------	-------------------

- 投資的経費=公共施設建設事業などに充てられた経費
- 義務的経費=人件費・扶助費・公債費を合わせた経費で、任意に削れないもの

◆財政状況◆

○財政力指数(単年度)

1.16(22年度)→1.10(23年度)→1.14(24年度)  
※財政力を示す指標。「1」を越えるほど財政に余裕がある。県内各市(名古屋市を除く)の平均は0.93である。

○経常収支比率

77.4%(22年度)→77.8%(23年度)→77.6%(24年度)  
※財政構造の弾力性を示す指標。より低い方が望ましい。県内各市(名古屋市を除く)の平均は87.2%(速報値)である。

○実質公債費比率(3カ年平均)

4.0%(22年度)→3.9%(23年度)→3.5%(24年度)  
※一般会計などが負担する借入金の返済額などの割合を示す指標。県内各市(名古屋市を除く)の平均は4.6%である。

調整基金への積立金の増加や、退職手当の増加などにより、22億2100万円余の増額となりました。

●民生費 193億8000万円余で、児童手当および子ども手当が減少する一方、安祥福祉センター建設事業の増加などにより、5億5500万円余の増額となりました。



安祥福祉センター

●商工費 6億2300万円余で、環境対応車購入支援事業補助金が平成23年度に終了したことなどにより、2億4100万円余の減額となりました。

●土木費 96億6700万円余で、1億5300万円余の減額となりました。

●教育費 72億6800万円余で、3億3500万円余の減額となりました。小学校の太陽光発電設備の設置件数が、平成23年度の10校に対し、平成24年度は2校となったことや、市立学校施設整備基金への積立金が1億9500万円余の減額となったことなどにより、ます。

平成25年度9月補正予算 16億4500万円余を追加

新たに必要となった事業などに総額16億4500万円余を追加し、補正後の予算総額は57億2000万円余となりました。歳出の主な内容は次のとおりです。

- 議会費 1100万円余増/市議会議員共済会負担金
- 総務費 13億5400万円余増/財政調整基金積立金、政策研究事業運営支援委託料
- 衛生費 3200万円余増/〔仮称〕総合リサイクルステーション整備工事費など
- 農林水産業費 1億1700万円余増/県営土地改良事業負担金
- 農地・水保全管理支援事業



交付金を受けて地元で整備した農業用排水路

●土木費 1億2400万円余増/側溝等新設改良(市内一円)工事費、南明治第二土地区画整理事業用地購入費など

●財政状況(各種指標)  
●経常収支比率 77.6%で0.2ポイント改善しました。

●財政力指数 1.14となり、0.04ポイント増加しました。これは全国的に見ても良好な財政状況です。

●財政健全化判断比率 いずれの指標も良好な数値となっています。

特別会計歳入歳出決算

【主な特別会計】

- 国民健康保険事業 一般会計からの繰入金により、引き続き黒字を確保しました。
- 有料駐車場事業 安城駅西駐車場西棟の耐震補強工事や東棟の外壁改修工事を行い、利用者の安全性の確保に努めました。
- 下水道事業 10億9600万円余の汚水管路の整備をし、新たに小川南地区、宇頭茶屋地区などの供用を開始しました。市全体の供用面積は2161.5ha、普及率は74.7%となりました。
- 土地区画整理事業 北部地区は平成25年度の事業終結に向け、道路修繕工事をするともに、換地処分をし、区画整理登記を完了しました。桜井駅周辺地区では、仮

都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定

都市計画法に基づく市街化調整区域内における開発行為および開発許可を受けた土地以外の土地に係る建築物の新築などの許可の基準を定めるものです。

教育委員会委員の任命に同意

9月30日で任期満了となる榊原ちさと氏の後任に、鳥居恵子氏(箕輪町)を任命することに同意しました。

人権擁護委員の推薦

12月31日で任期満了となる杉浦智之氏の後任に、引き続き同氏を推薦することについて異議ない旨答申しました。

意見書を議決

市議会では9月25日、次の意見書2件を国の関係機関および県に提出することを決めました。  
▽「国の私学助成の増額と拡充に関する意見書」  
▽「愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書」

主な議案の審議

本会議および委員会での主な議案の審議の一部を要約して紹介します。

■平成25年度一般会計補正予算 総務費

自治体シンクタンクは、市内部組織という位置付けか。それとも別の部署を設けるのか。

※自治体内部において専門的に政策の立案や提言を行う研究機関。

本市では、(仮称)安城市みらい創造研究所を来年4月に設立予定。

本市の中長期的な課題の調査・研究を行い、あるべき将来像を描く。

本市のシンクタンクが新しい視点を取り入れ、専門的かつ普遍的な政策提言を行うためには、既存の組織にしばられない独立した組織とする必要がある。

このため、内部設置と言いつつも、従来の組織表から外出しをしていく。

市民研究員は、どのような考え方で登用していくのか。

市民に深い関わりのあるテーマについて、希望される市民を選任し、研究を担ってもらう制度が先進地にあるが、成功事例が少ない。今後、情報収集をして研究していきたい。

予防接種事業 子宮頸がんワクチンは、平成22年1月から平成24年度末までに延べ1万3351人が接種しているが、厚生労働省より副作用と疑われる報告が相次ぎ、接種を積極的に呼びかけるのを一時中止するように勧告が出ている。

市の対応と市内で副作用と思われる事例はあったのか。

対象者に国の方針を記した通知を出すなどの対応をした。接種後に発熱した事例が1件あったが、翌々日には回復した。

商業共同事業等補助事業 安城プレミアムお買物券発行事業で、6億円余のお買物券を発行し、5400万円余を補助したが、その効果は。また、商店版のお買物券4億円余の利用状況は。

安城市商店街連盟が実施した10%のプレミアムを付けたお買物券発行事業に対し、プレミアム分の印刷、広告宣伝などの経費に補助した。販売金額は、総額で6億124万円(プレミアム分を含めると6億6100万円余)であった。実際に利用された金額は、6億5900万円余であり、市内で消費活動の促進に効果があった。

●民生費

小規模多機能型居宅介護事業所消防用設備整備補助金274万円余について、その内容は。

市内の3事業所のうち、1カ所は、スプリンクラー、自動火災報知機、消防署への自動通報装置の3種類の消防用設備がすべて整備済みである。ほかは、これらの設備が全くない事業所が1カ所、消防署自動通報装置がない事業所が1カ所であり、この2事業所の設備整備に対する補助である。

土木費 道路新設改良費5210万円

の補正の内容と目的は。

公有財産購入費20万円は、平成23年にも土地評価をした箇所ので再評価をしたところ37%上昇しており、その不足分。50000万円は老朽化した側溝の集中整備をするためのもの。

決算特別委員会分科会における質疑の一部を要約して紹介します。

総務企画分科会 広聴事業 eモニターの構成は、幅広い市民の声と言えるか。

また、商店版の利用総額4億円余のうち、大型店で約73%、小売店で約26%が利用された。

市民文教分科会 市民相談支援事業 消費生活相談件数が平成23年度245件から、平成24年度は37件と大幅に増加しているが、その内容は。

金融・保険関係の相談が平成23年度60件から平成24年度14件と54件増加した。また、健康食品の送り付けや催眠商法などによる相談は、平成23年度8件から24年度は22件と14件増加した。

交通安全施設整備事業 危険交差点特殊舗装について、53カ所の要望中、実施されたのが23カ所であるが、優先順位の付け方および残り30カ所の実施計画は。

選定基準として、当該交差点での人身事故件数、交通規制の有無、学校要望の有無、通学路であるかないか、継続要望か新規要望

30代・40代が約63%を占めている。まちかど座談会などの参加者には高齢の方が多いため、広聴事業全体をみるとeモニターが加わり、幅広い年齢層からの意見になると期待している。

平成23年10月から、市内62の公共施設について新電力に切り替えた。毎月の電気代が約160万円減り、合計で955万円余の経費節減となった。

愛知県西三河地方税滞納整理機構 平成24年度の機構の徴収実績は。

機構は、各市から毎年50万円以上の高額案件や困難案件110件程度の委託を受けている。

安城市は平成24年度当初の市税滞納額17億4900万円余のうち11%である1億9800万円余を委託し、徴収率は47.6%(対前年比+15.6ポイント)である。

建設分科会 緑道・自転車整備事業 事業費が3890万円余で、前年度のおおよそ2倍になっているが、その要因は何か。また、2月のeモニターアンケート結果と今後の重要施策は。

事業費が増加したのは、国庫補助金追加により明治用水緑道において、交差点のカラー化、車止め、照明灯、案内板の設置を平成24年度に完了したため。アンケートでは、交差点のカラー化での安全性の向上、照明灯設置による効果を評価する意見、照明灯の増設など防犯対策を求める意見が多かった。今後は防犯性向上のために暗い区間の防犯灯の増設を検討していく。

犯罪・被害防止情報提供事業 安全・安心メール配信回数が平成23年度46回だったものが、平成24年度は66回と増加しているが、その内容は。

平成24年度は自動車関連窃盗などの事案発生情報を積極的に配信したことが、回数が増加した主な理由。

生活道路新設改良事業 平成24年度の町内会要望数、実施数、および不採択となったものの理由は。

維持管理課管轄では要望623件実施281件。土木課管轄では要望349件、実施149件。

不採択理由は、まだ修繕時期に至らない、構造上施工できない、地権者理解が得られないなどである。

駅施設管理事業 安城駅と三河安城駅で耐震関係の委託を1280万円余で行っている。その結果と今後は。

平成23年度に実施した安城駅前デッキ耐震調査の結果、耐震改修が必要となったので実施設計を行った。この結果、2カ所にブレースを設置し、劣化したタイルを取り替え、

来年3月の完了を見込んでいます。三河安城駅は、連絡通路の耐震性を調査した結果、倒壊・崩壊の危険性が低く、安全が確認された。



平成24年度に発行されたプレミアムお買物券



市役所本庁舎

◆経済福祉分科会

■生活保護事業

生活保護受給者世帯のうち、高齢者世帯が41%を占めている。また、扶助費の状況では、医療扶助費が5億2700万円余で、全体の44%を占めている。

医療扶助費の支出を抑える方策として、ジェネリック医薬品の促進が有効と考えるが、切り替えの取り組みは。

市内の医師会、歯科医師会および薬剤師会に趣旨を説明し、昨年10月から診療所や薬局あてにジェネリックの利用促進をお願いしている。生活保護受給者には、医療機関や薬局で提示してもらおう「ジェネリック医薬品希望カード」を今年1月から配布して取り組んでいる。

■ごみ減量化推進事業

指定ごみ袋制と生ごみ処理機の設置補助などによる排出抑制、キャンペーンと説明会による減量啓発などに取り組んでいるが、近年のごみ削減率の動向と更なる削減率向上の方策は。

減量率の動向は、平成23年度末が21.0%、24年度末が20.0%で、特に事業系ごみの増加が目立っている。削減率向上の方策としては、(仮称)総合リサイクルステーションの整備、ごみ搬入物検

一般質問のあらまし

質問と答弁の一部を要約して、質問順に掲載しています。



代表・一般質問の録画を視聴できます

代表・一般質問の録画映像をインターネットで配信しています(過去2年分)。「市議会のページ」の「議会映像 ネット配信」から視聴できます。

一般質問の様子は、一般質問終了後、おおむね2週間後からご覧いただけます。

市議会のページ⇒⇒⇒ 安城市議会 検索

http://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/gikai/index.html



安政会 杉浦秀昭議員

子ども医療費無料化の拡大は

問 子ども医療費の高校生までの拡大について、どのような方針か。

答 医療費の7割分のほか、高齢者医療に対する拠出金も負担している健康保険組合への配慮が必要である。従って、平成26年度から、保護者の経済的負担が大きいく、健康保険組合などへの影響が少ない入院に限り、自己負担分を無料化する。



高齢者給食サービスについて

問 アンケート調査の集計結果を受け、配食回数は。

答 給食サービス事業は、対象者に一律に実施するものではなく、その方の食関連状況などさまざまな評価を行いながら、食生活の改善のために特に必要とされている方に実施する事業である。評価が前提となるが、毎日の配食が必要な方には、平成26年度から週7回に拡充していきたい。



市政クラブ 松尾学樹議員

防犯パトロール拡充について

問 安城市では、不審火と思われる火災や多くの住宅侵入盗の犯罪が起きており、市負担の深夜のパトロールを増強してはと思うがどうか。

答 今後、市民の安全安心を守るため、夜間防犯パトロール事業の拡充をしていきたい。

新美南吉の今後の取り組みについて

問 7月末に開催された南吉生誕百年祭は大成功だったと感じるが、今後、市外・県外からの人の呼び込みには、さまざまな仕掛けが必要と思うが、今後の取り組みは。

答 半田市や愛知県と協力し、民間旅行会社とも連携を図りながら、魅力ある観光南吉ルートの形成と全国PRを進めていく。



南吉モニュメントの除幕式



新政みどり 大屋明仁議員

一級河川矢作川について

問 矢作川については、昨年度、藤井地区で河川の流量確保のための河道掘削工事や堤防の築堤・護岸工事がされた。河川沿いの地域住民は、近年の豪雨を思うと矢作川の河川整備の促進を強く望んでいる。今年度の市内の河川改修の予定は。

答 今年度の予定は、鹿乗川排水機場付近から大帳水防倉庫付近までのうち、延長約17kmにおいて、堤防断面が不足する区間の築堤工事をを行う。また、そのうち、大帳水防倉庫付近の約180mの区間において、洪水時に堤防に浸透した水を速やかに排水するための堤防強化工事を実施する。



矢作川堤防工事の予定箇所(小川町)

◆このほかの質問：連続不審火、屋台の火災予防・安全管理、障害者の雇用、いじめ防止対策推進法

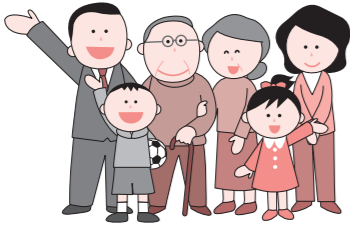


安政会 畔柳秀久議員

介護について

問 将来に向かって介護を必要とする人数は、今より必ず増加すると考えている。国の2025年問題に対して、安城市としてどのような対策を考えているのか。

答 本市の高齢化率は平成24年で17・3%だったが、平成37年(2025年)には22・2%になる。国は、介護保険制度の持続可能性を高めるため、施設中心から住み慣れた生活の場で必要な医療・介護サービスが受けられ、安心して自分らしい生活が実現できる社会を目指す地域包括ケアシステムづくりを進めている。



本市としても継続的で包括的なネットワークづくりを進めていく。特別養護老人ホームは中重度者への重点化が予想されるので、軽度の要介護者には在宅での生活確保を進めながら、施設整備の必要性についても検討していく。



日本共産党安城市議員団 宮川金彦議員

中学までの医療無料化の継続を

問 安城市は愛知県が福祉医療の有料化を実施した場合、子ども医療費の一部負担や所得制限はやむを得ないとしていたが、大村知事が6月3日、「当面は一部負担を導入しない」と表明した。有料化の根拠がなくなくなったのではないかと。

答 中学生までの医療費の自己負担金の無料化は継続していく。



国保税引き上げはすべきではない

問 国保加入者の平均所得は減っている。10月から年金の引き下げが実施される。国保税は協会けんぽより約1.6倍も高い。市の財政状況を考えれば、国保税の引き上げはすべきでないと考えるが。

答 平成26年度以降の税率改正は、25年度の決算見込みや国の動向に注視しながら、方針を検討する。



新社会 いしかわ 翼議員

「はだしのゲン」に対する認識

問 松江市で、原爆をテーマとした漫画「はだしのゲン」の閲覧が制限された。反社会的な作品でない限り、賛否はともかく存在が尊重されるべきだ。「ゲン」は戦争の悲惨さを伝える図書か、それとも有害図書か、市の認識は。

答 戦争の悲惨さを伝える図書と考えている。

問 安城市は閲覧制限をしないと認識してよいのか。

答 そう認識してもらってよい。

投票所における選挙人名簿

問 現状、投票に来た人が選挙人名簿を簡単に覗き込み、好ましくないと考え、市の認識は。

答 改善が必要と認識している。

問 どう対応するのか。

答 目隠し板を設置し、個人情報保護に努める。



安政会 すずき 浩議員

都築弥厚翁生誕250年について

問 都築弥厚翁は平成27年に生誕250年を迎える。郷土の偉人の功績を市民に発信し、後世にしっかりと伝えていく必要があると考えるが、市の考えを問う。

答 生誕250年に、弥厚の功績とその恩恵を広く市民に伝えるため、弥厚の歩んだ人生や幾多の変遷を遂げた明治用水の歩みなどを紹介していきたい。



弥厚翁の功績を記した看板(弥厚公園)

3土地改良区の合併について

問 市内には安城土地改良区を始め、明治用水、油ヶ淵悪水の3つの土地改良区がある。過去にも合併の議論があったと聞くが、市として、どのように考えるか。

答 3土地改良区が合併すれば、事務の効率化が図られるが、それぞれが課題を整理し、合併のメリットを見出すことが重要である。将来のあり方を考える中で、協議する機会を検討していきたい。



日本共産党安城市議員団  
かやけいこ  
深谷恵子議員

**要支援者の介護保険外し  
安城市は国に要請を**

**問** 自民・公明・民主3党は昨年8月、「自助」「自己責任」原則を打ち出し、国と地方の社会保障費を大幅に抑え込む社会保障制度改革推進法を成立させた。介護保険では、特別養護老人ホームの入所者を要介護3以上に重点化し、要支援1、2の認定者を介護保険から外す。市では対象者が1398人おり、これらの人には「住民主体の取り組みなどを積極的に活用する」としているが、専門的教育を受けたホームヘルパーの援助で生活を維持している例もある。支援が低下しないよう国に要請をすべきと思うが。

**答** 介護保険制度の持続可能性を高めるために、低所得者の保険料軽減措置の拡充などを図りながら、安心して自分らしく生活できる地域包括ケアシステムづくりを推進するなど、将来を見据えた改革であると思っており、国への要請は考えていない。

**◆このほかの質問：観光案内所設置、飼い主のいない猫、小中学校の特別教室への扇風機の設置**



公明党安城市議員団  
いまはらぢのり  
今原康徳議員

**被災者支援システムについて**

**問** 災害発生時の被災者支援や、復旧・復興に有効な被災者支援システムの導入の考えは。

**答** 平成27年度の基幹システム統合に合わせて導入を検討している。

**介護施設ボランティアポイント制度について**

**問** 高齢者の社会参加を支援し、実質的に保険料負担を軽減する介護施設ボランティア制度導入の考えは。

**答** 課題もあるが、来年度策定予定の「あんじょうプラン7」において研究していく。

**新城駅前駐輪場について**

**問** 新城駅前駐輪場は台数が足りないと思うが、増やす考えは。

**答** 駅周辺の需要を把握し、今後の課題として研究していく。



新城駅前(南口)



新改みどり  
つじやまひでなみ  
辻山秀文議員

**通学路の安全対策について**

**問** 昨年、通学路の緊急合同点検が実施されたが、市内62カ所の危険箇所対策の進捗状況は。

**答** 今年度末には、54カ所の安全対策が完了し、すべての対策完了時期については、来年度を予定。



**シェイクアウト訓練について**

**問** 9月1日に県民総ぐるみの防災訓練の一つとして、県内全域としては初めてシェイクアウト訓練が実施された。私も今年の3月に本市にも導入すべきと提案したが、今後の導入計画は。

**答** 今年度は試験的に、安城市総合防災訓練に参加される方を対象に、シェイクアウト訓練を行う。時期は未定だが、開庁時間中の市役所内でも行い、来年度以降、訓練の拡大をしていきたいと考えている。

**問** この条例は、「安城市の憲法」として最高規範になるものと位置付けられている。条例の目的・内容について市民へ周知するために、広報活動をどのように行ったのか。また、条例施行後、市に変化はあったのか。

**答** 周知活動は、条例施行時にパフレットを全戸配布し、市行事の中でPR、あんき会の活動などを通して行っている。条例施行後の行政側の変化としては、市民参加条例と市民協働推進条例も制定している。



市政クラブ  
しらやまつみ  
白山松美議員

**高野鎮雄氏について**

**問** 本市出身の高野氏は、家庭用ビデオVHSを開発し、世界に広め、新たな映像文化を創造した偉人であり、ものづくり日本の象徴的存在である。郷土の偉人を後世に伝える施策をすべきでは。

**答** 近現代の偉人の資料を充実させ、学校での取り組みや(仮称)図書館でのコーナー設置を検討する。

**安城市自治基本条例について**

**問** この条例は、「安城市の憲法」として最高規範になるものと位置付けられている。条例の目的・内容について市民へ周知するために、広報活動をどのように行ったのか。また、条例施行後、市に変化はあったのか。

**答** 周知活動は、条例施行時にパフレットを全戸配布し、市行事の中でPR、あんき会の活動などを通して行っている。条例施行後の行政側の変化としては、市民参加条例と市民協働推進条例も制定している。

9月定例会に提出された議案などの審議結果			会派別賛否(○賛成、×反対)					
			安政会	市政クラブ	新政みどり	共産党	公明党	新社会
認定	9月定例会に提出された案件		結果					
	第1号	平成24年度一般会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	×	○
	第2号	" 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	×	○
	第3号	" 土地取得特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○
	第4号	" 有料駐車場事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○
	第5号	" 下水道事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○
	第6号	" 安城北地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○
	第7号	" 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○
	第8号	" 安城桜井駅周辺特定地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○
	第9号	" 介護保険事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	×	○
	第10号	" 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	×	○
第11号	" 水道事業会計決算	原案認定	○	○	○	○	○	
市長提出議案	第60号	市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
	第61号	都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○
	第62号	平成25年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○
	第63号	損害賠償の額の決定及び和解	原案可決	○	○	○	○	○
同意	第5号	教育委員会委員の任命	原案同意	○	○	○	○	○
諮問	第2号	人権擁護委員の推薦	異議ない旨答申	○	○	○	○	○
陳情	第1号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情	不採択	×	×	×	○	○
議員提出議案	第1号	国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○
	第2号	愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○

※議案名と会派名は、一部省略して記載しています。(共産党⇒日本共産党安城市議員団 公明党⇒公明党安城市議員団)

**決算認定までの流れ**

3/31 会計年度終了

⇒ 5/31 出納を閉鎖 (その年度の現金の移動を締め切ること)

**会計管理者による決算の作成**

現金の支払いおよび受領などの会計事務を行う会計管理者は、出納の閉鎖後3カ月以内に決算を作成し、証拠書類、その他の書類と併せて市長に提出します。

⇒ 6~8月 監査委員の審査

市長に提出された決算は、監査委員に送付され、監査委員の審査を受けます。監査委員は、計算に誤りはないか、収入・支出が適法に行われているかなどを審査します。

⇒ 9月定例会

**議会への提出・審査・(認定)**

市長は、監査委員の審査意見を付けて、決算を議会へ提出します。議会は、審査した後、認定するかどうか採決をします。



監査委員から市長へ平成24年度決算の審査意見書を提出(8月22日)  
(左:神谷市長、中央:稲垣監査委員、右:今井監査委員(議会選出))

### 行政調査報告

各常任委員会の行政調査の概要を掲載します。

#### \*総務企画常任委員会

●日程 7月22～24日

#### ●訪問先および調査事項

○鳥取県境港市では、地域ブランドの情報発信について調査した。水木しげる氏が描く漫画に登場する妖怪のオブジェなどを歩道に配置したロードは、全国から観光客が訪れる名所となっている。多くのマスコミに取り上げられ反響を呼んだ境港市の事例は、本市の新美南吉プロジェクトにも参考となった。

○広島県呉市では、半官半民の指定管理者制度の導入について調査した。呉市歴史海事科学館(愛称「大和ミュージアム」)では、学芸業務は市が直接行い、施設管理部門や広報・営業は指定管理者が行う官民協働で施設運営を行っている。市の費用負担が削減されるなど一定の効果が出ており、本市の歴史博物館の運営にお



呉市での調査風景

いて参考になると感じた。  
○広島県東広島市では、広報広聴について調査した。広報「ひがしひろしま」は、全国広報コンクールで市の部3席となるなど、紙面づくりには定評がある。広報紙づくりでは、担当職員の能力やセンスによるところが大きく、人材育成が大切であると感じた。

#### \*経済福祉常任委員会

●日程 7月16～18日

#### ●訪問先および調査事項

○北海道滝川市では、生ごみのバイオガス化について調査した。各家庭や事業所より分別収集された生ごみがメタンガスと優良な堆肥として回収され、効率的な資源化に成功していた。

○北海道釧路市では、自立支援プログラムの取り組みについて調査した。体験型のプログラムによる地道な取り組みが、働くことのやりがいを見出し、生活保護者の自立を促していた。  
○北海道千歳市では、千歳市子ども通園センターについて調査した。市直営で運用している当センターでは、児童発達支援事業、子ども



釧路市での調査風景

発達相談室、保育所等訪問事業が連携しており、発達に障害のある就学前の子どもに必要な療育を行うことにより、子どもの豊かな発達を促していた。

#### \*市民文教常任委員会

●日程 7月22～24日

#### ●訪問先および調査事項

○佐賀県佐賀市では、西与賀小学校においてフューチャースクール推進事業および学びのイノベーション事業によるICT(情報通信技術)を活用した授業への取り組みについて調査した。日々進化するICTを教材ツールとして使用するにより、子どもたちの論理的思考やプレゼンテーション能力の発揮などの効果が認められた。  
○佐賀県武雄市では、武雄市図書館について調査した。新図書館構想のもと、平成25年4月にスターバックスコーヒー、蔦屋書店(TSUTAYA)を併設してリニューアルオープンした。従来の図書館の概念にとらわれず、民間の持っているノウハウを活かし、利用者目線で常に改善を図っていた。



佐賀市での調査風景

○山口県山口市では、やまぐち式協働のまちづくりについて調査した。合併により安城市の約12倍となった地域の行政運営を行うため、地域ごとに協議会を設置し、予算権限を与え、担当職員を派遣し協働のまちづくりを推進していた。

#### \*建設常任委員会

●日程 7月24～26日

#### ●訪問先および調査事項

○東京都目黒区では、目黒天空庭園について調査した。首都高速道路ジャンクションの屋上の庭園で上部を利用した高度な土地利用形態だったが、雨水や太陽光利用などの経費削減対策が課題となっていた。

○代官山ステキなまちづくり協議会(東京都渋谷区)を訪問し調査した。自分たちのまちの良さを守るためのルールづくりを実践し行政へ提言をしていた。住民同士の信頼関係や郷土愛が不可欠であり、これらを育む施策が本市のまちづくりにも必要であると感じた。  
○神奈川県相模原市では、街路樹管理について調査した。市役所前通りは、ソメイヨシノや



相模原市での調査風景

ケヤキ並木が壮観で、市民の憩いの場として親しまれている。高樹齢なサクラの更新や、緑化の推進施策は、本市の街路樹管理の参考となった。

○青森県八戸市では、八戸市地域公共交通会議について調査した。平成24年1月から2カ月間、中心市街地から郊外の住宅地に向かう深夜バスの実証実験を行った。市民からバス停設置やルート改善などの要望が出され、本市と同様に市民の足をいかに確保するかが課題となっていた。  
また、はちナビ娘「はちこ」と名付けた案内人を駅や観光案内所に配置し、公共交通の利用促進を図っていた。

### 委員会の主な活動状況

#### \*総務企画常任委員会

●8月7日 部会を開き、固定資産評価審査決定取消請求事件について報告を受け、質疑しました。

●9月13日 第3回定例会で審査を託された一般会計補正予算1議案を審査し、原案どおり可決しました。

#### \*経済福祉常任委員会

●9月12日 第3回定例会で審査を託された一般会計補正予算など

2議案を審査し、原案どおり可決しました。

#### \*市民文教常任委員会

●9月11日 第3回定例会で審査を託された陳情1件と一般会計補正予算1議案を審査し、陳情は不採択とし、議案は原案どおり可決しました。

#### \*建設常任委員会

●9月10日 第3回定例会で審査を託された一般会計補正予算など4議案を審査し、原案どおり可決しました。

#### \*議会運営委員会

●8月26日・9月19日 第3回定例会の議事運営を協議しました。

#### \*議会改革検討委員会

●8月26日 諮問事項について協議しました。

#### \*議会基本条例策定特別委員会

●7月5日 これまでの検討事項の確認と今後の進め方、議会報告会(試行)などについて協議しました。

●8月9日・26日 議会報告会(試行)などについて協議しました。

●9月24日 条例案について協議しました。

### 議長に答申

\*エネルギー政策特別委員会  
●9月20日 東邦ガス(株)のスマートエネルギーハウス(東海市)、(株)デンソー・善明製作所(西尾市)を訪問し、微細藻類を使ったCO2吸収・バイオ燃料化の取り組みなどについて調査しました。



スマートエネルギーハウスの調査風景

議長から議会改革検討委員会に諮問されていた3つの諮問事項のうち、「質問主意書」と「議長の選出」について、9月19日に次のとおり答申しました。「議員定数の削減」については、継続して協議していきます。

●答申内容 提案理由、趣旨は理解できるものの、現行の安城市議会の議会運営において特段支障は認められないことから、これを「採用しない」とこととされた。



竹本委員長(右)から松浦議長へ答申書を提出

### 「決算」

#### 議会用語一口メモ

決算は、予算と対比して収入と支出の実績はどうなっているのか、予算の目的どおりに執行され、その効果を発揮しているかなどについて分析、検討するための資料になります。そのため、決算は将来にわたって、より効率的な行政運営を行うための予算編成の資料としての重要な意味をもちます。

#### 9月定例会での決算認定の流れ

- ①市長から議会に上程された決算認定議案は、決算特別委員会に付託します。
- ②決算特別委員会では、4つの分科会(総務企画・経済福祉・市民文教・建設)を設置し、予算が効率的に執行されたかどうか、十分な行政効果が得られたかどうかなどについて、各分科会で審査(質疑応答)をします。
- ③決算特別委員会を開き、各分科会の委員長が審査経過を報告します。
- ④本会議で、決算特別委員会委員長が審査結果を報告し、討論を経て、一般会計・各特別会計ごとに採決します。

## 議会報告会

試行

安城市議会では、市民の皆さまにより身近な議会にしていくために、議会基本条例の策定を検討しています。その参考とするために議会報告会を試行します。ぜひご参加ください。

**日時** 11月24日(日) 午後2時～3時30分終了予定(開場：午後1時30分)

**会場** 安城市文化センター 大会議室(3階)

**内容** ○議長あいさつ

○報告 ・議会改革の取り組み報告

・9月定例会の報告

各常任委員会(総務企画・経済福祉・市民文教・建設)

※主に、9月定例会の議案などの審査報告をします。

決算特別委員会

※平成24年度決算の概要や審査報告をします。

・各特別委員会の活動報告(議会基本条例策定・エネルギー政策・防災対策強化)

※調査研究事項などの概要報告をします。

○意見交換会 ※テーマは、議会報告会に関することに限定させていただきます。

○終わりのあいさつ

(※内容は変更になる場合があります。)

**参加方法** 申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

**問合わせ** 議会事務局 TEL 71 - 2252(直通)

### 12月定例会の開催予定

12月2日(月)	開会
3日(火)	一般質問
4日(水)	一般質問
5日(木)	一般質問予備日(※)
6日(金)	議案質疑
10日(火)	建設常任委員会
11日(水)	市民文教常任委員会
12日(木)	経済福祉常任委員会
13日(金)	総務企画常任委員会
19日(木)	閉会

- 開催時刻はいずれも午前10時の予定です。  
※一般質問予備日に開催する場合は、市公式ウェブサイト「市議会のページ」の「会議予定」でお知らせします。

- 請願・陳情提出締切りは、11月22日(金)です。

### ケーブルテレビの録画放映

12月3日(火)～5日(木)の一般質問の様子が、キャッチネットワーク106チャンネルで録画放映されます。

【放映日】 3日収録分➡4日(水)午後6時  
4日収録分➡6日(金)午後6時  
5日収録分➡24日(火)午後6時(※)

※24日は会議が開催された場合のみ放映。

### 市議会だより編集委員会

◎=委員長 ○=副委員長

◎杉山 朗 ○近藤之雄  
今原康德 石川 翼 松尾学樹 鈴木 浩  
辻山秀文 大屋明仁 杉浦秀昭 深谷恵子

市民の皆さまに、市議会の活動などをわかりやすくお伝えしていきます。

ご意見・ご感想をお寄せください。

【発行者】安城市議会 【編集者】市議会だより編集委員会 【宛先・問い合わせ】安城市議会事務局  
〒446-8501 安城市桜町18-23 Tel.0566-71-2252 Fax.0566-77-8200 Eメール：giji@city.anjo.aichi.jp